

上方歌舞伎会

平成25年
8月24日・25日
午前11時・午後4時開演



「菅原伝授手習鑑」(阪急文化財団 池田文庫蔵)

関西の若手俳優有志による勉強会「若鮎の会」が昭和五十五年から十年間毎夏公演されました。平成二年からは若鮎の会のメンバーにその他の上方系の俳優を加え、新たな勉強の場として結成されたのが国立文楽劇場の「上方歌舞伎会」です。上方歌舞伎の継承を志し、日頃舞台を脇で支える俳優達が、大役に挑みます。彼らの今後の飛躍につながるこの盛夏の会にご期待下さい。

菅原伝授手習鑑

すがわらでんじゆてならいかのみ

吉田神社の近く、来合わせた梅王丸と桜丸が互いの不運を嘆いているところに、藤原時平が吉田神社へ参詣との触れがきます。二人はその行く手を阻もうとしますが、そこに待ち受けていたのは時平に仕える三つ子の一人、松王丸でした。

伊勢音頭恋寝刃

いせおんていのねはば

伊勢の御師福岡貢は、阿波の家老の息子今田万次郎のために名刀青江下坂の詮議に奔走します。ようやく刀だけを手に入れた貢はそれを知らせずに万次郎が通う油屋へやつてきます。一方、阿波の客徳島岩次も青江下坂を探しています。岩次は今田家の失脚を企む一派の者で、貢が探す青江下坂の折紙(鑑定書)を持っているのです。油屋で万次郎を待つ貢は、馴染の遊女お紺に愛想づかしをされます。貢は怒つて喜助の差出す刀を取ると憤然と立ち去ります。お紺が愛想づかしをしたのは折紙を持つ岩次に近づいたための芝居だったのです。刀をすり替えられたと思い、油屋へ戻ってきた貢は誤って遊女を斬ってしまいます。貢の持っている刀こそ本物の青江下坂だったのです。しかし、その刀の魔力にとりつかれた貢は次々と人を斬っていくのでした。



片岡 松太郎 片岡 松四朗 片岡 松十郎 片岡 松寿 片岡 比奈三 片岡 仁三郎 片岡 富史弥 片岡 富吉郎 片岡 千次郎 片岡 千壽
中村 陽洋 中村 暁祐 中村 暁之 中村 暁大 中村 暁政 上村 純弥 上村 吉太郎 片岡 りき彌 片岡 佑次郎

(五十音順)

※内容に一部変更の場合もございます。予めご了承下さい。

予約開始
7月11日(木) 午前10時～
(電話) 国立劇場チケットセンター【午前10時～午後6時】
☎0570(07)9900
☎03(3230)3000 [PHS・IP電話]
(インターネット) <http://ticket.ntj.jac.go.jp/> (パソコン)
※一般のみ <http://ticket.ntj.jac.go.jp/m> (スマートフォン)
※この公演はインターネット予約の際、座席選択をご利用いただけます。
※詳しくはホームページをご覧ください

窓口販売開始
7月12日(金) 入場券売場【午前10時～午後6時】
※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません
ご観劇料
一般 4,000円・学生 2,800円
※障害者の方は2割引です(一般のみ)。
※車椅子用スペースがございます。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。
一般のみの取扱い 7月11日(木)より
チケットぴあ ☎0570(02)9999 [Pコード:426-198]
ローソンチケット ☎0570(000)407 [Lコード:59336]

国立文楽劇場
日本橋駅 地下鉄千日前線(千日前通)
7号出口
ファミリーマート
EVエレベーター 10号出口
黒門市場
<http://www.ntj.jac.go.jp/>
【地下鉄・近鉄(日本橋)駅下車徒歩約1分】
※駐車場がございますのでお車でのご来場にご配慮ください。